



ROTARY CLUB OF FUJIMI

富士見ロータリークラブ週報

第2141回例会 令和元年 7月26日(金)

【クラブ協議会・セミナー報告】

NO2079

2019-8-2発行

2019~2020年度

国際ロータリー会長マーク・ダニエル・マローニー

第2570地区 ガバナー 鈴木秀憲

【会長】石川 泉
【副会長】尾崎 功
【幹事】奥田功次
【副SAA】隈川貴久男



【点 鐘】

会長 石川 泉会員

【斉 唱】

ロータリーソング
「奉仕の理想」



【会長の時間】 会長 石川 泉会員

降り続いた雨も止み、ようやく夏らしい天気になってきました。そのような中、傘を持たずに出かけるとわか雨に、いや最近ではゲリラ豪雨ですね。私も一昨日池袋でのゲリラ豪雨に遭遇致しました。意外と傘を持たずに出かけることが多々あります。前置きはこれくらいにして、そういう時の為にロータリークラブが奉仕を实践したお話しです。これは日本で1950年代の出来事だそうです。にわか雨に降られてしまった通勤客たちに傘を貸し出すプロジェクトを開始しましたが、ある会員は通勤客が借りた傘を返してくれるかどうか自信がありませんでした。そこで、別の会員が傘の内側に四つのテストを印刷する事を提案しました。数ヶ月後傘は数多くの人たちに利用され、すべて返却されました。四つのテストは、人々の心の中に深く刻み込まれ、目に見える形で表現されています。この四つのテストは、ハーバートテラーによって提案されたものです。



最初は仕事上で大きな負債を抱えた会社を再生するために思案し、社員たちに倫理的価値観の目安となる簡潔な指針を作るべく、100語からなる文系をしたためました。これは長すぎると判断し、推敲を重ね、それを7つの項目にまとめました。四つのテストの当初は七つのテストだったそうです。しかし、これでも長いと考えて、それを自問自答形式の4項目にまとめ上げ、それが四つのテストとなりました。そして、これを会社再生の為の基本と位置づけ社風の一部となって会社への信望は高まり、財政の改善に寄与することとなったのです。そして、7年間で負債は完済され、その後15年間で株主に多額の配当が支払われるようになりました。それを踏まえて1942年に国際ロータリー理事のシカゴのリチャード・ベナー氏が提案し、1943年1月に四つのテストを職業奉仕プログラムの一つの構成要素としました。今日では四大奉仕部門のすべてにおける不可欠の要素となったのです。

この四つのテストが現代社会に求められている倫理的誠実さであると考えられます。友人を探し選び、その友人関係を維持し、周りの人達と友好関係を築く事、幸福な家庭を作ること、高い倫理的・道徳的規準を設定し身につける事、自ら選択した事業や専門職で成功を収める事、良き市民となり次の世代にとっての良き手本となることです。私も努力を惜しまず精進していこうと改めて思いなおしました。さて、7月14日紫雲閣にて会員増強・公共イメージセミナーが実施されました。

会員増強委員長の島田会員・公共イメージ委員長浅見会員と共に参加して参りました。

浅見会員には我がクラブの抱負を語って頂きました。ありがとうございました。また、講師に2840地区2017~2018のバスターガバナーが登壇し、

お話をされました。また、7月15日には、東松山市民文化センターに於いて、社会奉仕セミナーがあり、社会奉仕委員長の桑原会員と参加しましたアイバンクとブライダル担当の話があり、基調講演は2070地区バスターガバナー戦略計画委員長坂本元彦氏からのお話がありました。以上ご報告いたします。ありがとうございました。

【幹事報告】 幹事 奥田功次会員

1) 例会変更の件

1. 朝霞キャロットRC

8月 5日(月)→同日9:00

北朝霞公園清掃活動

8月26日(月)→同日18:00

ガバナー公式訪問



2. 当クラブ

8月 9日(金)⇒8月 4日(日)変更

ザリガニ釣り大会午前9時集合 小雨決行

氷川神社境内の下、

雲居の滝周辺の小川(湧き水)

8月16日(金)⇒定款による例会取消

8月23日(金)⇒8月22日(木)変更

新入会員ゴルフ大会

太平洋クラブ江南コース

夜間例会 点鐘18時 ひで蔵

2) 次の書類を回覧します

1. 市民ゴルフ大会の商品についてのご協力

2. 志木、新座RCの年度計画書と会報

3) 3回目の理事会

8月3日(土)12時30分~14時 例会場

【贈呈】 会長 石川 泉会員

219~20年度、坂本元彦会員の諮問委員会の委嘱状が届いております。1年間宜しく願い致します。



【委員長報告】

○親睦委員会⇒委員 西崎哲章会員

1. 8/22日クラブ内ゴルフ出席者

14名、夜間例会25名です。

2. 国際大会の出欠席の返事を

8/30日までにお願い致します。



○環境委員会⇒

副委員長 柳田政男会員

8/4日(日)ザリガニ釣り大会

・集合は9時で9時半から11時30分まで実施

・服装は帽子のみ

・ドリンクは用意します。



- ・商品は1~3位は商店会提供。参加賞あり。
- ・保険加入
- ・案内看板作成、駐車場と自転車置き場

【出席報告】 委員長 萩原喜八郎会員

7月26日	正会員数	免除会員	出席率
会員数	44名	10名	
出席数	20名	7名	65.9%

【ニコニコBOX】 涌井英樹会員

栗原 平会員

7/19日、埼玉県警察本部で県警本部長より【警察協力賞】を頂きました。この賞は警視庁が警察活動に協力した民間人に対する最高の賞で毎年、全国で約40人に送られ、埼玉県では私で35人目だそうです。東入間警察署管内では初めてのようです。埼玉県警察嘱託医として25年間、2500件の検案を行い「死者の人権」を守るために」検案を行ったことが高く評価された様です。授与式がテレビと新聞で報道され、事の重大さに驚いております。賞状とバッジを頂きました。ありがとうございました。(多額ニコニコBOXにい入れて頂きました 委員会より)

石川会長、奥田幹事、斎藤重、下山、長根会員、萩原、柳田、吉原会員

県警本部から警察庁長官名で、民間人最高位の「警察協力賞」の受賞おめでとうございます。

横田正、西崎、羽石、横田昌会員

前回欠席しました。

羽石 隆、涌井英樹会員

早退致します。 本日合計¥24,000

【クラブ協議会】 会長 石川 泉会員

○環境委員会⇒

委員長 横田昌則会員

地域の自然を大切に、地域住民に親んでもらえるような自然環境を目指し、そのための環境整備活動を進めていきたいと思っております。本来環境委員会は4年前にできた委員会であり、以前から富士見市内でホテルを生息させようという活動の中でできた委員会です。活動としては諏訪の森に地域団体と協力を図り、自然環境を整備し多くの住民に知ってもらい、憩いの場として親んでもらう。敷いては富士見RCの活動を認知して頂き、イメージアップに繋げる。具体的には継続的な活動となっています。地区補助金による環境整備事業及び清掃活動、ホテルの幼虫の放流、ホテルの鑑賞会を企画しようと思っております。早速ですが今年度初めての企画として8月4日にザリ



ガニ釣り大会が移動例会として決まっています。今年度も皆様のご協力をよろしくお願い致します

OR財団委員会⇒委員長 吉原孝好会員

ロータリー財団は、ポリオの撲滅や平和の推進といったグローバルなキャンペーンを展開しているほか、地区やクラブに補助金を提供しております。こうした活動や補助金は、ロータリー財団への寄附により実現しております。そこで、ロータリー財団の活動に対し理解を深めていただくとともに、活動資金へのご協力をお願いしてまいります。寄付をお願いする方々につきましては、米山記念奨学委員会とも協議したうえで決めていきたいと考えておりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



また、地区補助金の活用につきましては、諏訪の森道路整備事業に係る地区補助金の申請を行っておりますので、今後、地区補助金の適正な執行に努めてまいりたいと考えております。

○米山記念奨学委員会⇒委員長 尾崎孝好会員 (代読 吉野欽三会員)

ロータリー米山記念奨学事業は、全地区が参加する合同プロジェクトです。日本で学ぶ外国人留学生の支援・交流を通じ、国や地域を超えた絆や信頼関係を築き、やがて一人ひとりの胸に世界平和を願う「心」育てるという使命は一貫して変わっていません。寧ろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えると「民間外交として世界に平和の種を蒔く」という事業の使命は益々重要性を増していると思います。今年も世話クラブとしての役割を担う中で、奨学生との交流・支援を通じて貴重な時を共有できればと思います。会員皆様のご理解とご協力を宜しく願致します。



活 動

- 1. 米山記念奨学会への寄付の推進
- 2. 米山奨学生の支援
- 3. 奨学生との交流等を通じて米山記念奨学会事業への理解を深める

○青少年奉仕委員会⇒委員長 江沢康夫会員 (方針)

当委員会の大きな役割の中に青少年交換事業があります。青少年交換についてガバナー月信の中で興味深い文章が載っていました。「クラブから交換学生の推薦があり、一定の基準に達した生徒を地区が海外派遣し、その交換として受け入れた生徒は派遣クラブが責任をもってお預かりする。これが青



少年交換の原則だが、近年では地元からの派遣希望がなくて望がなくても、地区委員会が地元クラブと関係なく派遣し、派遣した学生の地元周辺クラブへ受け入れを要請する場合もある。クラブと派遣学生・受け入れ学生との真の交流が少なく学生交換の原則から外れていると考える。」と書かれていました。受け入れ交換留学生のホストクラブの財政面やホストファミリーの不足等々いろいろな原因があり、大変難しい問題であると考えます。その課題を当クラブがしっかりと認識し「交換留学生」「真の交流」について皆で考え、新しい感覚を持って今後の青少年奉仕活動に生かせるよう一年間取り組んで参ります。どうぞご支援・ご協力をお願い致します。

〈活動〉

- 1. 富士見クラブの推薦で地元から交換留学生を派遣出来る体制づくりを目指し、青少年交換留学生事業に対する富士見クラブ内の共通認識の向上に努める。
- 2. ロータリークラブの交換留学生制度を地域に認識していただき、学生に目指していただけるようにPRする。
- 3. 地区ロータリーの青少年奉仕部門にあるライラ委員会・アクト委員会・青少年交換委員会の事業に積極的に参加する。

【セミナー報告】

○ロータリー米山記念奨学委員会 7/7紫雲閣 委員長 尾崎孝好会員

概 要

開会の後、鈴木秀憲ガバナーよりご挨拶があり、その後担当諮問委員であります加藤玄静パストガバナー及びロータリー米山記念奨学会評議員の細井保雄パストガバナーよりご挨拶がありました。次に、出席している奨学生及び学友、地区役員の紹介がありました。その後、島崎米山記念奨学委員長から本委員会セミナーの開催趣旨説明が行われました。米山記念奨学事業は、経済的に困っている学生への救済でも、特別な学業研究の奨励でもなく、母国と日本との懸け橋となるような人材を育てる教育事業でもある。その教育を受け持つのが、世話クラブであり、カウンセラーである。是非、各クラブでの活動を奨学生も一緒に体験し、日本の素晴らしさ、日本人の気遣いやおもてなし等を肌で感じてほしい旨の話がありました。現在2570地区においては継続奨学生5名、新規奨学生12名、計17名の奨学生の受け入れを各クラブをお願いしており、今後の各種行事への参加、協力依頼がありました。



尚、奨学生の受け入れ人数はその地区の留学生数、前年度の個人へ平均寄付額、地区の寄付総額等により決定される。一人でも多くの奨学生を受け入れ、多くのクラブでお世話頂く為にも当地区では一人当たりの平均寄付額が、15,000円となるようお願いしている。又、米山記念奨学事業への理解を深め、寄付の増進に資するためにも10月の米山月間において、奨学生または地区役員の卓話をプログラムの中に取り入れてほしいとの要請もありました。その後、休憩をはさみ、当日出席した奨学生一人ひとり、「奨学生となって」というテーマで3分間スピーチを行いました。各クラブでの様子や学業のことや日々の暮らしの様子など、皆んな一生懸命に伝えようとするスピーチがステキでした。

富士見クラブでお世話しているジヨンさんも、ロータリーへの感謝を述べつつ今の生活の様子を話していました。最後に、世話クラブとして、カウンセラーとして奨学生との交流・支援を通じて貴重な時を共有できればと思います。

○会員増強・公共イメージセミナー

7/14日 紫雲閣

参加者 石川会長、浅見会員、島田鈴木ガバナー挨拶

会員増強には組織運営を考えると若い人に入っていただきたい

高齢者が楽しめる、活躍できるクラブ運営をしてほしい

公共イメージについては、RIの資料では70パーセントの方がRCを知っているということですが、そうは思えない

世間の人に知ってもらうには、世間の方々の立場でRCを知ることが必要であり、各地でRCとは何、というフォーラムを開催してほしい
会員増強委員会 井埜委員長

会員増強セミナーの意義、講師の紹介
基調講演 講師 第2840地区パストガバナー

高崎RC 田中久夫様
「ロータリーの真髓 ～それは仲間・親睦・奉仕～」という演題



自ら実践をされた内容を中心にお話をいただきました

我がクラブの公共イメージプロジェクトということで各クラブより発表

当クラブからは、公共イメージ委員長 浅見会員より当クラブの公共イメージの向上のための活動内容を発表していただきました

○公共イメージ委員会⇒委員長 浅見隆広会員

公共イメージ委員会のセミナーが開催されました。会員増強委員会と合同開催の内容としましては、会員増強のためにはロータリーク



ラブの公共イメージを上げることが不可欠である市民の皆さんに広く富士見ロータリークラブの事をよく知っていただくことが大切です。

諏訪ノ森の清掃活動やホテル観賞会の一般市民向けの事業を広く知っていただくことやボーイスカウトとのカントリー大作戦、今回の夏休みザリガニ釣り大会も虫を成功させるためには、幼虫の天敵を抑える意味もあります子供達に楽しんでもらうのも公共イメージの向上と思います。

今回セミナーに参加してその内容を聴きながらSNSなど最近の情報ツールを使うことや会員同士の公共イメージの情報交換も考えていきたいと思いました。

まずは他のクラブの成功事例を伺うと楽しんでやっておられるところが成功しておられる様子が伺えました。

【点鐘】会長 石川 泉会員

例会日	毎週金曜日
時 間	12:30~13:30
事務所	〒354-0022 富士見市山室2-10-10 島田ビル201号
電 話	049-251-6596 FAX049-252-3848
例会場	島田ビル1F
Eメール	fujimi-rc@nifty.com

会報・IT委員会	週報担当:長根章浩
委員長:長根章浩	副委員長:森田仁一
委員:栗原 平 浅見隆広 涌井英樹 斎藤信夫	